No.145　2018 年 8 月号

沙羅の樹文庫だ・よ・り

文庫あれこれ◆誠にもって、暑い暑い夏です。なるべく楽しいことを書こうと思っているのですが、全くもって、今月は気力体力萎えています。◆文庫でいつも元気印のXさんから、私、絶不調と☎。◆こちらも、この１か月、予定のない限りは家に閉じこもり冷房の中でさえ、ふーふーでしたもの。◆でも、彼女の理由はこの夏の異常気象に非ず、のようです。何でも現状に甘んじず、努力して改善してきた彼女でも、だからこそ?!燃え尽き症候群ならぬ鬱症状になる時がある(来る)のでしょうか。高齢主婦が多く陥る途? 私たち、何とか元気を保つ法はないものでしょうか。◆テレビが戦争時のさまざまな報道を流しているのを、見るとは無しに聴いていて、ふと思い出したことがあります。9 歳まで地方都市で育ちましたが、学齢前、歌舞伎座に「先代萩」だか「重の井の子別れ」だかを観に行き、母子の辛い切ないわかれに号泣したのですが、その上京の折、上野駅に戦災孤児がたくさんいたのを見た記憶が。でも、時期的な記憶が不確かで、私を連れて行ってくれた祖母も母もあの世で聞くすべもなく。それで、当時の歌舞伎座の演目を調べたり、『浮浪児 1945―戦争が生んだ子供たち』を読むに至りました。結局、私の記憶を証明してくれる時期の確証は掴めなかったのですが、改めて当時の浮浪児にならなければならなかった人々や周辺の世界を知りました。◆文庫の、本をよく読む中 2 生 3 人に、人類愛をテーマに戦争の中の人間をたくさん描いている作家マイケル・モーパーゴを読んで感想を書いてもらいました。来月にはモーパーゴ特集として掲載された雑誌『子どもと読書』をご覧いただけます。◆お盆休みで来ていた長女一家が朝早く、キジバトバトの親子が行列して庭を通過するのを見たと。まるで絵本の『かもさんおとおり』みたいだったと。昨朝私も早起きして待ちましたが、彼らの訪問は無し。残念!!◆話題作入っています。4 日間開けています。涼しいです。ゆっくり本探しを!　(西村)

皇居・平川門・お堀一面
異常に育った水草
（18.8.5）

熱川バナナワニ園のレッサーパンダ、
彼(彼女)も暑さを持て余しているのかしら
（7 月、海の日の語り手 K さん撮影）

沙羅の樹文庫開館スケジュール 2018

★開館日は通常は
第 3 日曜と前日の土曜です★

◆8 月は延長 18 日（土）～21 日（火）の 4 日間
★土曜以外は 10:00am～3:00pm です。

8 月 19 日の子どものためのおはなし会は
いつもより、たくさん、えほんやおはなしが
ありますよ!

◆9 月は通常 15 日（土）～16 日（日）両日
◆10 月は通常 20 日（土）～21 日（日）両日
◆11 月は変則 4 週 24 日（土）～25 日（日）両日
◆12 月は通常 15 日（土）～16 日（日）両日
16 日 AM クリスマスおたのしみ会あります。

通常の文庫の時間
土曜は 14:00～17:00　日曜は 10:00～15:00
✿毎月開館日の日曜には、10:30～11:30
子どものための小さなおはなし会があります。
★毎月開館土曜日 11:00～13:00
✿✿おはなし沙羅の勉強会✿✿
よみきかせの練習・本選びの勉強にもどうぞ!
☽よみきかせ、かたりの参考資料多数在庫

WAVE 出版刊

いま、学校は夏休み。誰もいない学校、何してるんだろう。

学校
私は最近学校が楽しい
好きな授業もきらいな授業も
ある人がいて
なにもかもが楽しくなる
私も人を
幸せにできるかな
あの人がいるこの学校で　　（小６　漆山りん）

土曜の学校
土曜の学校へ行けば
体育館から　ボールの音
校舎から　楽器の音
運動場から　地面を蹴る音
土曜の学校へ行けば
他の曜日では味わえない
独特の雰囲気がある　　（中２　吉田颯介）

読売新聞・「子どもの詩」から

森林浴さんの本の紹介は夏休みです!　それで、9 月分の亜子さんの書評を掲載させていただきました!

読む楽しみを～北の国から　１０

亜子　記

『新しい人体の教科書 上・下』(山科正平著　講談　2017 年刊)』

――さあ、勉強しよう！という気にさせてくれる人体の教科書――

講談社のブルーバックスという新書サイズで、しかもオールカラー、イラストたっぷりで人体が勉強できるということが魅力的で、出版されてすぐに買い求めました。新書サイズですから当然安い（上下で 3680 円プラス税で 4000 円を切る！）ので私でも手が出ました。しかし、分厚いのです。上巻 478 ページ、下巻 358 ページもあります。医学生が学ぶほどには詳しくはないのでしょうが、一般人が学ぶには十分な内容です。

著者のはしがきによると「からだ――誰もがひとつだけ持っているかけがいのないもの。はち切れんばかりに生気をみなぎらせて、地上を闊歩する若者たちには、全くといっていいほど頓着がない。しかし、年齢を重ねてくるにともない、あちこちに異常や障害が発生してくると、いやがうえにもからだへの関心は高まってくる。高齢化問題の一面は“からだ問題”でもある。誰もが健康で長生きしたいと う。・・・健康食品やサプリメントが飛ぶように売れている。しかし、自分の健康を護るのは自分を措いてない。となれば、わたしたちは自分のからだについて、もっと関心をたかめ、もう一度基本に立ちかえって、自分の目でじっくり眺め直してみてはどうだろうか」とのこと。

部分的には知っていても、からだ全体を本格的に勉強したことのない私は、この際、一念発起してこの本のすべて学んでみようと、大学ノートに必要なイラストや大事な部分をどんどん書き写す方法で挑戦しています。書けば、写せば自然に頭にはいります。ただ読んでだけいては眠たくなるだけ。細胞膜の構造と機能から始まるイラストの美しいこと。80 色のカラー鉛筆でひたすら描き写しています。女性の卵巣や子宮も詳細に知るのは初めて。特に卵巣ホルモンにちょっと問題のある私は、自身のエストロゲン（女性ホルモン）過剰の原因をようやく突き止めました。黄体ホルモン・プロゲステロンが閉経するに従ってどんどん減っていくらしいのです。ホルモンバランスが崩れて不調に陥っているのでした。もちろん、子宮や卵巣のイラストもノートに描き写し色を塗って、フームと言いつつ眺めています。時間はかかりますが、自分の関心のある分野から学べばいいので、じっくり取り組めます。

著者の山科正平氏は 1941 年北海道生まれ。北里大学名誉教授。難解な解剖学を平易かつ明快に講義することで定評があるそうで、本書は 8 年もかけて一人で執筆されたそうです（もちろん必要なところは他の教授の助言も受けている）。「解剖学、生理学、そして分子細胞生物学までの成果もふまえて人体を統合的に俯瞰する」膨大な作業で根気のいる仕事だと思います。これほどの仕事を成し遂げた満足感、気分はどんなものかしら、と羨ましくなります。ところどころにコラムとズームアップの記事が挟まれていて、それを読むのも楽しいです。

～北の旭川はすでに、秋風が吹いている?～
★この本、今月入庫しました★
興味津々ですが、読み切れるでしょうか、
亜子さんも森林浴さんのように、多ジャンルにわたってのの読書家ですね!（さ・ら）

東伊豆町の風力発電所・3 翼プロペラ型発動機
（孫が撮ってきました。）

沙羅の樹文庫の HP もどうぞご覧ください!!
http://saranokibunko.com

18年8月に入った子どもの本

絵　本

『がっこうだってどきどきする』（アダム・レックス作　クリスチャン・ロビンソン絵　WAVE 出版 2017）ID12796
『なずずこのっぺ』（カーソン・エリス作　アーサー・ビナード訳　フレーベル館 2017）ID12797
『くらやみのゾウーペルシャのふるい詩から』（ルーミー原作　評論社 2018)ID12798
『王さまになった羊飼いーチベットの昔話』（松瀬七織再話　福音館書店 2018)ID12799
『このいえもむかしは』(ジュリー・フォリアーノ文 BL 出版 2018)ID12795
『どうくつをたんけんする』（堀内誠一さく　福音館書店 2018)ID12800
『すごいね! みんなの通学路』(ローズマリー・マカーニー文　西田佳子訳　西村書店 2017）)ID12804
『パズルでめぐる世界の旅』(アレクサンドラ・アーティーモウスカ作・絵　森ゆみ訳　エクスナレッジ 2018))ID12805
『太陽系の惑星』（赤木かん子作　永田修デザイン 新樹社 2018）)ID12806＊寄贈(澤口さんから)

読み物

『ポケットのなかのジェーン』(ルーマ・ゴッデン作 徳間書店 2018))ID12807
『最後のオオカミ』（マイケル・モーパーゴ作　はらるい訳　文研出版 2017）)ID12808
『紫の結び　源氏物語１』『紫の結び　源氏物語２』『紫の結び　源氏物語３』(紫式部原作　荻原規子訳　理論社 2013～4))ID12801～3
『千年の田んぼ』（石井理津子著　旬報社 2017）ID12809

読書感想文・課題図書　2018

小学校低学年の部
「ルラルさんのだいくしごと」（いとうひろし作 ポプラ社 2017）
「きみ、なにがすき?」（はせがわさとみ作　あかね書房 2017）
「なずずこのっぺ」（カーソン・エリス作　アーサー・ビナード訳　フレーベル館 2017）★
「がっこうだってどきどきする」（アダム・レックス作　クリスチャン・ロビンソン絵　WAVE 出版 2017）★

小学校中学年の部
「レイナが島にやってきた!」（長崎夏海作　理論社 2017）
「森のおくからーむかし、カナダであったほんとうのはなし」（レベッカ・ボンド作　もりうちすみこ訳　ゴブリン書房 2017）★
「最後のオオカミ」（マイケル・モーパーゴ作 はらるい訳　文研出版 2017）★
「すごいね! みんなの通学路」（ローズマリー・マカーニー文　西田佳子訳　西村書店 2017）★

小学校高学年学年の部
「奮闘するたすく」（まはら三桃作　講談社 2017）
「こんぴら狗」（今井恭子作　くもん出版 2017）★
「ぼくとベルさんー友だちは発明王」（フィリップ・ロイ作　櫛田理絵訳　PHP 研究所 2017）
「クニマスは生きていた!」（池田まき子作　汐文社 2017）

中学校の部
「一〇五度」（佐藤まどか作　あすなろ書房 2017）
「太陽と月の大地」（コンチャ・ロペス＝ナルバエス作　宇野和美訳　福音館書店 2017）★
「千年の田んぼ」（石井理津子著 旬報社 2017）★

※高校の部は省略しました。
★印は文庫にあるもの。

みんなは、せんそうってどんなことか、しってる?
友だち同士のケンカも戦争の始まりですが 2 人だったらやめることもできます。でも国と国が戦争したら簡単にはおさまりません。過去に(今も世界の方々で)大きな戦争がありました。戦争が始まったら世の中が、近しい人々がどんなになってしまうか、知るのは大切なことです。文庫にこんな本があります。家族で読んでみてください。戦争を考え平和を願って。
絵本：
『はらっぱ』『へいわってすてきだね』『さがしてます』『ぼくのこえがきこえますか』『せんそう』『くつがいく』『紅玉』『ちいさなへいたい』『せかいでいちばんつよい国』・・・ほか

小学中・高学年に：『あらしの前』『あらしのあと』『なぜ戦争はよくないか』『どうぶつ会議』『ちいちゃんのかげおくり』『木かげの家の小人たち』『世界で一番の贈り物』『少年口伝隊一九四五』『アンネの日記』・・・ほか

中高生に：『縞模様のパジャマの少年』『ヒトラーと暮らした少年』『兵士ピースフル』『あのころはフリードリヒがいた』『灰色の地平線のかなたに』『走れ、走って逃げろ』『サラの鍵』『バスラの図書館員』『アウシュヴィッツの図書係』・・・ほか
別置しておきます。

みんなのお庭にも来る?　キジバトの親子

18年8月に入ったおとなの本

フィクション

『生きるとか死ぬとか父親とか』(ジェーン・スー著 新潮社 2018))ID17572※request
『ありえないほどうるさいオルゴール店』（瀧羽麻子著　幻冬舎 2018))ID17565
『火影に咲く』(木内昇著　集英社 18)ID17566
『飛ぶ孔雀』(山尾悠子著　文藝春秋 2018) ID17563
『はるか』（宿野かほる著　新潮社 2018) ID17564
『オールドレンズの神のもとで』（堀江敏幸著　文藝春秋 2018) ID17573
『ファーストラヴ』（島本理生著　文藝春秋 2018)ID17579
『送り火』（高橋弘希著　文藝春秋 2018))ID17580
『星夜航行　上・下』（飯嶋和一著　新潮社 2018）)ID17581　ID17582
『真夜中の子供』（辻仁成著　河出書房新社 2018))ID17583
『Timeless』（朝吹真理子著　新潮社 2018))ID17584
『いちごの唄』（岡田恵和著　朝日新聞出版 2018))ID17585
『骨を弔う』(宇佐美まこと著　小学館 2018))ID17586
『花殺し月の殺人ーインディアン連続怪死事件とFBI の誕生』(デイヴィッド・グラン著　早川書房 2018))ID17569
『憂鬱な 10 か月』(イアン・マキューアン著　新潮社 2018))ID17567
『ずぶぬれの木曜日きっとどこかにあるはずだ』（エドワード・ゴーリー著　河出書房新社 2018))ID17574
『最初の物語』(ジョアン・ギマランイス・ホーザ著 水声社 2018))ID17568
『リヴァトン館』（ケイト・モートン著　栗原百代訳　ランダムハウス講談社）ID17577
『須賀敦子の本棚１　神曲』（池澤夏樹監修　河出書房新社 2018))ID17570

エッセイほか

『作家がガンになって試みたこと』(高橋三千綱著　岩波書店 2018)ID17571
『カモメの日の読書ー漢詩と暮らす』(小津夜景著 東京四季出版 2018) ID17587
『生きて死ぬカ』（石上智康著　中央公論新社 2018))ID17588
『死を生きた人びとー訪問診療医と 355 人の患者』(小堀鷗一郎著　みすず書房 2018))ID17589
『浮浪児 1945―戦争が生んだ子供たち』(石井光太著　新潮社 2014)ID17578
『カラー図解新しい人体の教科書　上』(山科正平著　講談社 2017))ID17591
『カラー図解新しい人体の教科書　下』(山科正平著　講談社 2017))ID17592

新　書

『後醍醐天皇ー南北朝動乱を彩った覇王』(森茂暁著　中公新書))ID17575
『後醍醐天皇』（兵藤裕己著　岩波新書 2018))ID17576

文　庫

『空飛び猫』(アーシュラ・K・ル=グウィン著　講談社文庫)ID17590※request

沙羅の樹文庫だより No. 145-2

徒然に
文庫だよりに時間かけたって誰も読まないよ、という人もいます。でも、始めたからにはお終いまで、が私の信条。おつきあいください。
★文庫に来るようになって初めて児童書の面白さを知った、という方もいます。ある機関紙に 2003 年から隔月で子どもの本の紹介文を書いています。その評価はともかく、100 回までのお約束、あと数回です。その中から。選び方は手あたり次第、でも心動かされた本もたくさん。
・ふくろ小路一番地（ID710）　ガーネット作
・思い出のマーニー上・下（ID744、745）　J.ロビンソン作
・川の少年(ID117)ボウラー作
・一年と一日（ID150）メイン作
・ハヤ号セイ川を行く（ID830）　F.ピアス作
・駆け抜けて、テッサ!（ID135）　ペイトン作
・トーマス・ケンプの幽霊★　ペネロピ・ライヴリィ作
・農場に暮らして（ID740）アトリー作
・肩甲骨は翼のなごり（ID133）D.アーモンド作
・おれの墓で踊れ（ID115）チェンバーズ作
・猫の帰還（ID122）ウェストール作
・デ・ラ・メア物語集１～３（ID626～628）
・タトゥーママ（ID146）J.ウィルソン作
・魔女の地をひく娘上・下（ID5、6）リーズ作
・村田エフェンディ滞土録（ID5145）梨木香歩
・イルカの家（ID85）　サトクリフ作
・幽霊（ID107）　A.バーバ作
・幽霊の恋人たち（ID124）　A.ローレンス作
・夜中に犬に起こった奇妙な事件（ID119）　M.ハッドン作
・ジョコンダ夫人の肖像（ID34）カニグズバーグ
・メアリーの鳩（ID137）　A.ターンブル作
・ハロウィーンの魔法（ID91）ゴッデン作
・妖精ディックのたたかい（ID12628）　K.M.ブリッグス作
・フィオナの海（ID131）　R.K.フライ作
・少年キム（ID88）　キプリング作

大人にも十分面白いです。★は文庫にないもの。
ではまた、埋め草にいつか続きを。（さ・ら）